



小さな拠点づくり Creating a small base

私たちの町をご紹介



山あいの地区の ダム湖を活かしたまちづくり

中国山地の山々に囲まれ、奥出雲町と接する温泉地区。地区を流れる斐伊川沿いには、『出雲国風土記』にも登場する名湯「出雲湯村温泉」が湧き、上流にある尾原ダムの「さくらおろち湖」周辺では、ボート競技や自転車競技などが盛んです。また、2014年に閉校した地区の小学校は、現在、不登校支援の拠点として活用されています。

本地区では、地域自主組織「ダム湖の郷」を中心に、尾原ダム周辺の環境維持をはじめ、スポーツイベントの開催や運営参加、特産品開発、さらにそれらに伴う雇用創出などに力を入れています。



小さな拠点づくりとは?

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、様々な課題の解決が必要です。 そのために知恵を出し合い、計画をつくって出来ることから 少しずつ取り組んでいくことが「小さな拠点づくり」です。



小さな拠点づくり

Creating a small base

雲南市

(温泉地区地域自主組織「ダム湖の郷」)

私たちの アイデア

11

まちのひとの声

地元の人でも普段はあま りダムに行くことはないの ですが、ウォーキングの集 いがあることで、ダムの景 色を楽しんだり、人と交流 したりする良い機会になっ ています。

温泉地区では、今後も尾原ダムを核とし た地域の活性化を継続していきたい考え です。現在の取り組みで言えば、スポーツ イベントの開催のほか、交付金などを活 用した有償ボランティアの募集です。有 償ボランティアは、草刈りなどの環境整 備、肥料となる鶏糞の配送など、さまざま な活動がその対象となっており、人口が 減少し、地域活動の担い手が不足する中 で住民が持続的に地域づくりに関われ る工夫をしています。

さくらおろち湖の周囲約4.5kmを一 周するウォーキングイベントで、 2012年の尾原ダムの完成以来、毎 年開催しています。参加者の顔ぶれ は、ベビーカーを押す家族連れから 高齢者までさまざま。毎回70~80 人のエントリーがあり、地元住民も 多数参加しています。さくらおろち湖 では他にもボートやトライアスロン、 トレイルランニングなどの大会が開 かれています。

活動内容

2004年の雲南市の誕生をきっかけ に、市内各地区に地域自主組織が設 立されました。その流れの中で温泉 地区自主組織「ダム湖の郷」も誕生。 温泉地区交流センターを拠点に、尾 原ダム周辺の環境美化活動として草 刈りや、ソバやキツツジなどの栽培、 ウォーキング大会の開催、道の駅で の青空野菜市などに取り組んでいま す。



小さな拠点づくりとは?

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、様々な課題の解決が必要です。 そのために知恵を出し合い、計画をつくって出来ることから 少しずつ取り組んでいくことが「小さな拠点づくり」です。

idea

小さな拠点づくり

Creating a small base

私たちの アイデア

11

雲南市

(温泉地区地域自主組織「ダム湖の郷」)











きっかけ



温泉地区では、今後も尾原ダムを核とし た地域の活性化を継続していきたい考え です。現在の取り組みで言えば、スポーツ イベントの開催のほか、交付金などを活 用した有償ボランティアの募集です。有 償ボランティアは、草刈りなどの環境整 備、肥料となる鶏糞の配送など、さまざま な活動がその対象となっており、人口が 減少し、地域活動の担い手が不足する中 で住民が持続的に地域づくりに関われ る工夫をしています。

斐伊川沿いに隣り合って建つ旧温泉 小学校と旧温泉幼稚園。2014年の 閉校・閉園後はダム湖の郷が管理団 体となって、定期的に草刈りをする など地区の人たちの手で維持管理さ れています。旧校舎は、雲南市や NPO法人、地域、保護者が協働で不 登校支援に取り組む「おんせんキャ ンパス」として活用されており、今後 は幼稚園の活用も期待されていま す。

2004年の雲南市の誕生をきっかけ に、市内各地区に地域自主組織が設 立されました。その流れの中で温泉 地区自主組織「ダム湖の郷」も誕生。 温泉地区交流センターを拠点に、尾 原ダム周辺の環境美化活動として草 刈りや、ソバやキツツジなどの栽培、 ウォーキング大会の開催、道の駅で の青空野菜市などに取り組んでいま す。



小さな拠点づくりとは?

住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、様々な課題の解決が必要です。 そのために知恵を出し合い、計画をつくって出来ることから 少しずつ取り組んでいくことが「小さな拠点づくり」です。